



第71期
(2019年3月期)
決算説明資料

2019年5月31日

トーイン株式会社



証券コード：7923

第71期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業においては、新規取引先開拓や既存客先からの受注拡大に向け、営業体制強化を継続するとともに、当社の加飾技術等のアピールや企画提案型の営業活動を継続的、かつきめ細かく実施いたしました。その結果、国内の食品分野及び日用品分野の売上はやや低迷いたしましたが、化粧品分野の売上が好調に推移いたしました。また、海外においては、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）の売上が引き続き増収基調を維持し、タイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）も底堅く推移したことなどにより、売上高は10,976百万円（前期比2.5%増）となりました。精密塗工事業は、継続的な展示会出展によるマーケティング活動を通じて積極的な営業活動を展開したことにより新製品の受注を獲得したものの、既存品の受注減少により、売上高は前期比でほぼ横ばいの790百万円（前期比0.7%減）となりました。その他事業は、受託包装において自動化ラインの定期的な受注品の確保や化粧品分野の企画品を受注したものの、食品分野の受注が減少したことにより、売上高は611百万円（前期比6.0%減）となりました。この結果、当連結会計年度の全体の売上高は12,379百万円（前期比1.8%増）となりました。

利益面については、包装資材事業は、高効率印刷機の導入などの生産体制の整備による生産の効率化・安定化、生産計画の精度向上、更なる品質保証体制の徹底などの諸施策を推進してまいりました。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）においても、生産体制の整備の進展により、生産性・採算性を向上させてまいりました。しかしながら、エネルギー価格・物流コストの上昇に加え、期央以降は、主要材料・副資材などの値上げ、人手不足に伴う人件費の上昇、新規導入設備が本格稼働までに時間を要したことでの外注加工費と減価償却費の負担増、また、各種製造・物流コストの上昇を十分に吸収できなかったことなどにより減益となりました。精密塗工事業は、エネルギー価格・物流コストの上昇や人件費の上昇などで減益となりました。その他事業は、受託包装の売上高は減少いたしましたが、自動化ラインの活用、柔軟性のある生産体制の編成などにより増益となりました。

この結果、当連結会計年度の営業利益は332百万円（前期比18.2%減）、経常利益は356百万円（前期比16.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は262百万円（前期比26.7%増）となりました。

<当期のトピックス>

○生産設備

印刷機

2018年 9・10月 高効率印刷機を導入し、生産能力の増強を図る。

その他

2019年 1月～4月 紙加工機を導入し、生産能力の増強を図る。

○技術

2018年12月 チェンジング印刷技法を導入する。

2019年 2月 クラッシュラスター印刷技法を導入する。

3月 ボトムカートン特許取得予定。

第71期 連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 第70期 | | 第71期 | | 対前期比 | 備 考 |
|-------------------------|--------|------------|--------|------------|------|-----|
| 売 上 高 | 12,161 | % 100.0 | 12,379 | % 100.0 | 218 | |
| 売 上 原 価 | 9,908 | 81.5 | 10,117 | 81.7 | 208 | |
| 売 上 総 利 益 | 2,252 | 18.5 | 2,261 | 18.3 | 9 | |
| 販売費及び一般管理費 | 1,845 | 15.2 | 1,929 | 15.6 | 83 | |
| 営 業 利 益 | 406 | 3.3 | 332 | 2.7 | △73 | |
| 営 業 外 収 益 | 93 | 0.8 | 96 | 0.8 | 3 | |
| 営 業 外 費 用 | 71 | 0.6 | 72 | 0.6 | 0 | |
| 経 常 利 益 | 428 | 3.5 | 356 | 2.9 | △71 | |
| 特 別 利 益 | 15 | 0.1 | 34 | 0.3 | 18 | |
| 特 別 損 失 | 55 | 0.5 | 5 | 0.0 | △50 | |
| 税金等調整前当期純利益 | 387 | 3.2 | 384 | 3.1 | △2 | |
| 法 人 税 等 | 175 | 1.4 | 120 | 1.0 | △54 | |
| 当 期 純 利 益 | 212 | 1.7 | 263 | 2.1 | 51 | |
| 非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益 | 5 | 0.0 | 1 | 0.0 | △3 | |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | 206 | 1.7 | 262 | 2.1 | 55 | |

第71期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 第70期 | | 第71期 | | 対前期比 | 備 考 |
|-------------------|---------------|--------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------------------|
| | | % | | % | | |
| 流動資産 | 7,512 | 41.9 | 8,060 | 42.2 | 547 | 現金及び預金 548 |
| 固定資産 | 10,431 | 58.1 | 11,031 | 57.8 | 599 | |
| 有形固定資産 | 7,345 | 40.9 | 7,614 | 39.9 | 269 | 建物 建設仮勘定 Δ 99 機械及び装置 172 208 |
| 無形固定資産 | 50 | 0.3 | 32 | 0.2 | Δ 17 | |
| 投資その他の資産 | 3,036 | 16.9 | 3,384 | 17.7 | 347 | 投資有価証券 226 長期前払費用 82 |
| 《資産合計》 | 17,994 | 100.0 | 19,091 | 100.0 | 1,147 | |
| 流動負債 | 5,474 | 30.5 | 5,529 | 29.0 | 54 | |
| 固定負債 | 3,278 | 18.3 | 4,191 | 21.9 | 913 | 長期借入金 751 |
| 《負債合計》 | 8,753 | 48.8 | 9,721 | 50.9 | 968 | |
| 株主資本 | 7,937 | 44.2 | 8,111 | 42.5 | 174 | |
| 資本金 | 2,244 | 12.5 | 2,244 | 11.8 | — | |
| 資本剰余金 | 2,901 | 16.2 | 2,901 | 15.2 | — | |
| 利益剰余金 | 3,502 | 19.5 | 3,677 | 19.3 | 174 | |
| 自己株式 | Δ 711 | Δ 4.0 | Δ 711 | Δ 3.7 | — | |
| その他の包括利益累計額 | 1,205 | 6.7 | 1,209 | 6.3 | 3 | |
| 非支配株主持分 | 48 | 0.3 | 49 | 0.3 | 0 | |
| 《純資産合計》 | 9,191 | 51.2 | 9,370 | 49.1 | 179 | |
| 《負債 純資産合計》 | 17,944 | 100.0 | 19,091 | 100.0 | 1,147 | |

第71期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

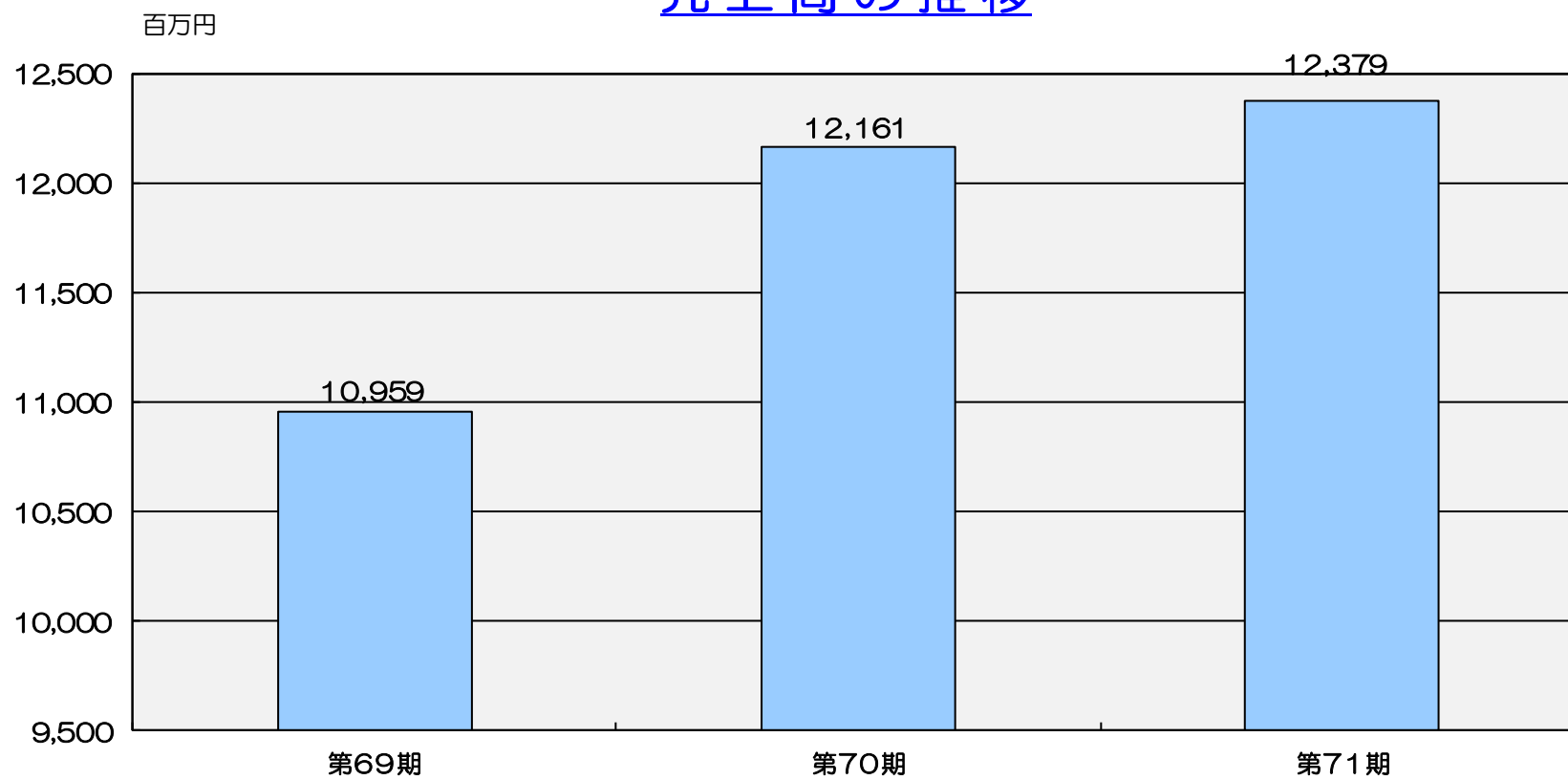
| | 株 主 資 本 | | | | | 計 | そ の 他 包 括 利 益 累 計 額 | 非支配株主 持 分 | 純 資 産 合 計 |
|---------------------|---------|--------------|--------------|------------|-------|-------|---------------------------|--------------|--------------|
| | 資 本 金 | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自 己 株 式 | | | | | |
| 当連結会計年度期首残高 | 2,244 | 2,901 | 3,502 | △ 711 | 7,937 | 1,205 | 48 | 9,191 | |
| 当連結会計年度変動額 | | | | | | | | | |
| 固定資産圧縮積立金取崩 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 88 | | △ 88 | | | △ 88 | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 262 | | 262 | | | 262 | |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 | | | | | | 3 | 0 | 4 | |
| 当連結会計年度変動額合計 | — | — | 174 | — | 174 | 3 | 0 | 179 | |
| 当連結会計年度末残高 | 2,244 | 2,901 | 3,677 | △ 711 | 8,111 | 1,209 | 49 | 9,370 | |

第71期 連結キャッシュ・フロー計算書

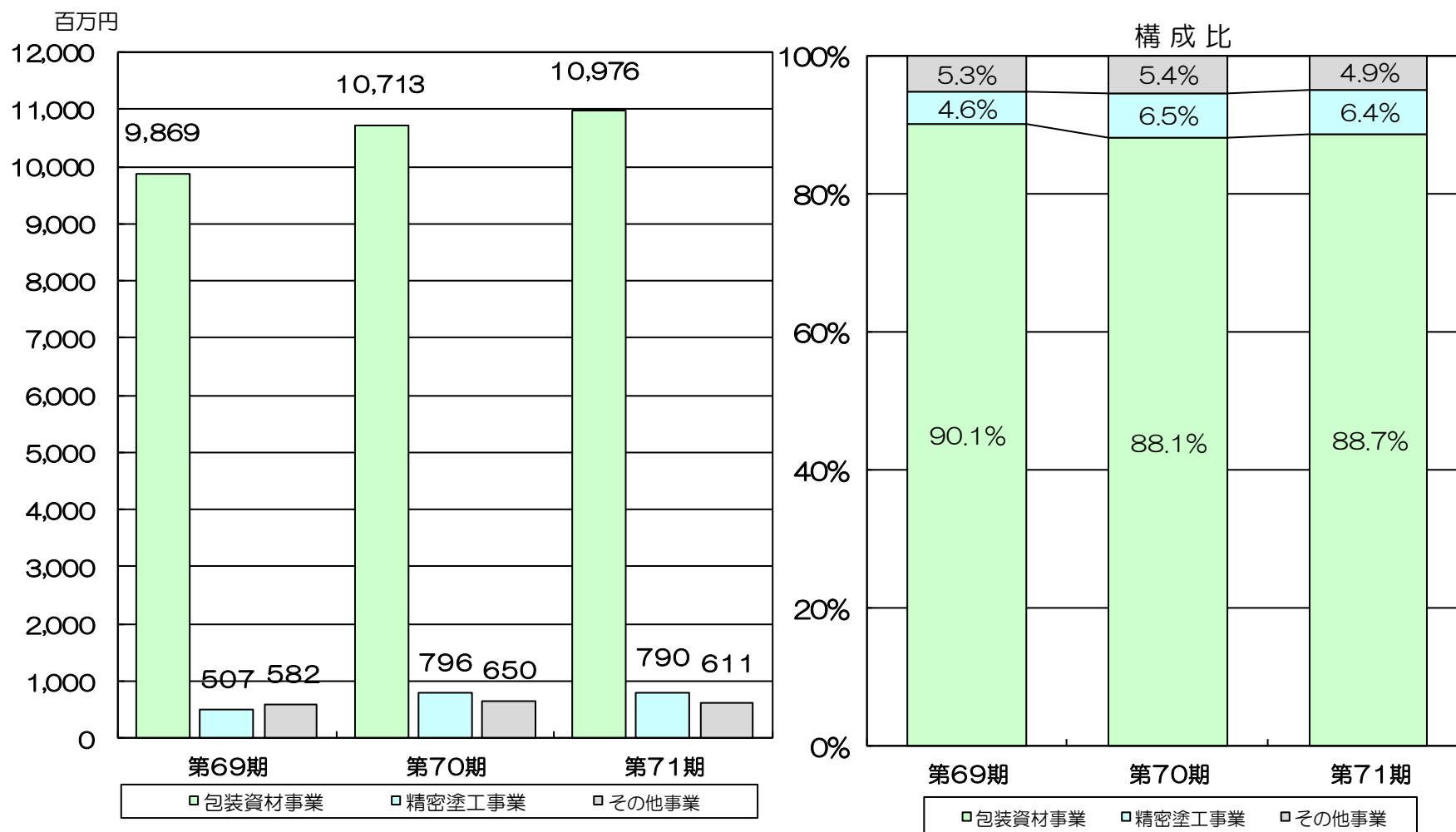
(単位：百万円)

| | 第70期 | 第71期 | 備 考 |
|------------------|-------|--------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,023 | 857 | 税金等調整前当期純利益 384 減価償却費 826 仕入債務増加 △ 132 法人税等 △ 222 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 927 | △1,030 | 有形固定資産取得支出 △ 934 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 260 | 726 | 借入金の純増額 850 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0 | △ 5 | |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △ 164 | 548 | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,395 | 2,230 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,230 | 2,779 | |

売上高の推移

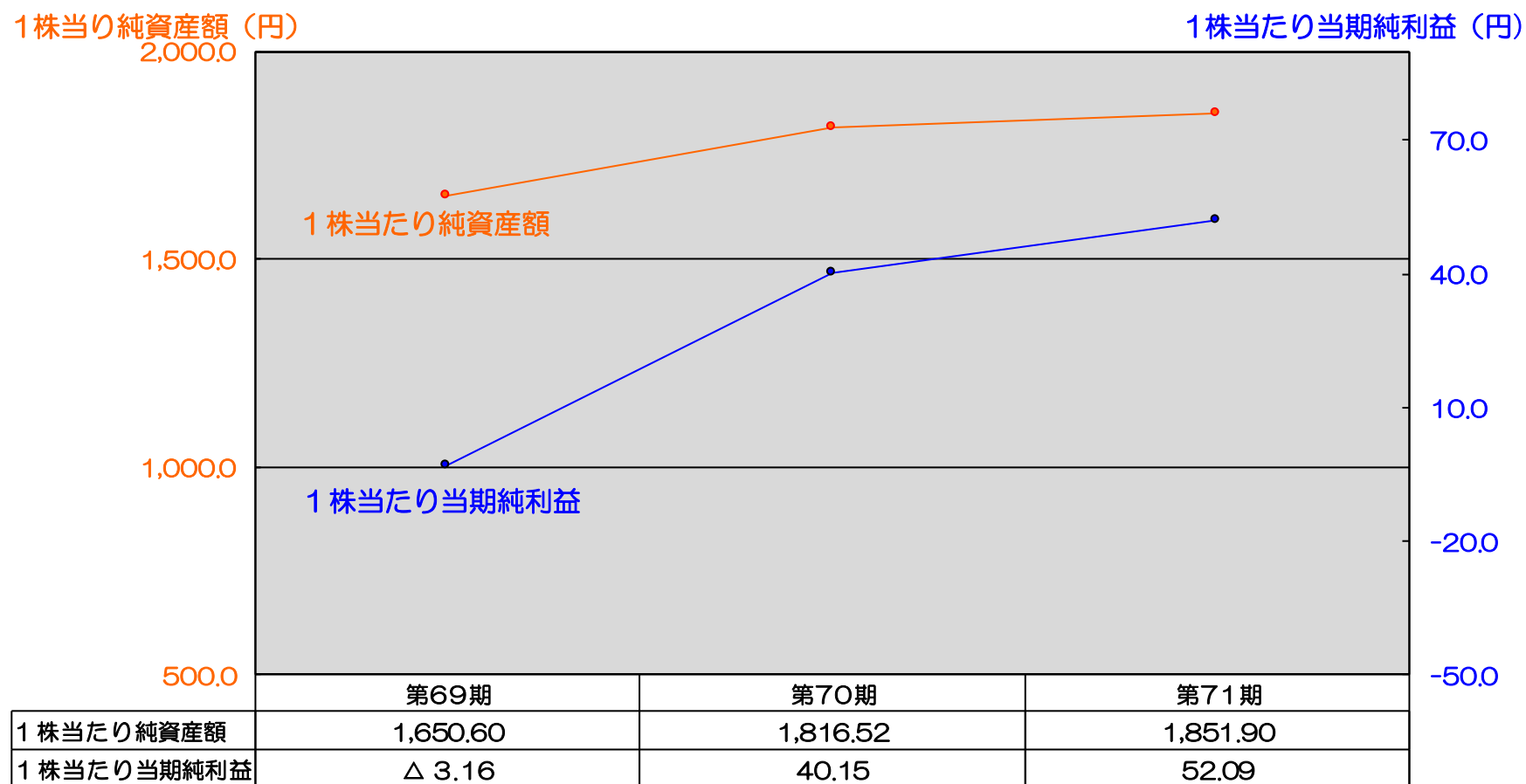


事業別売上高

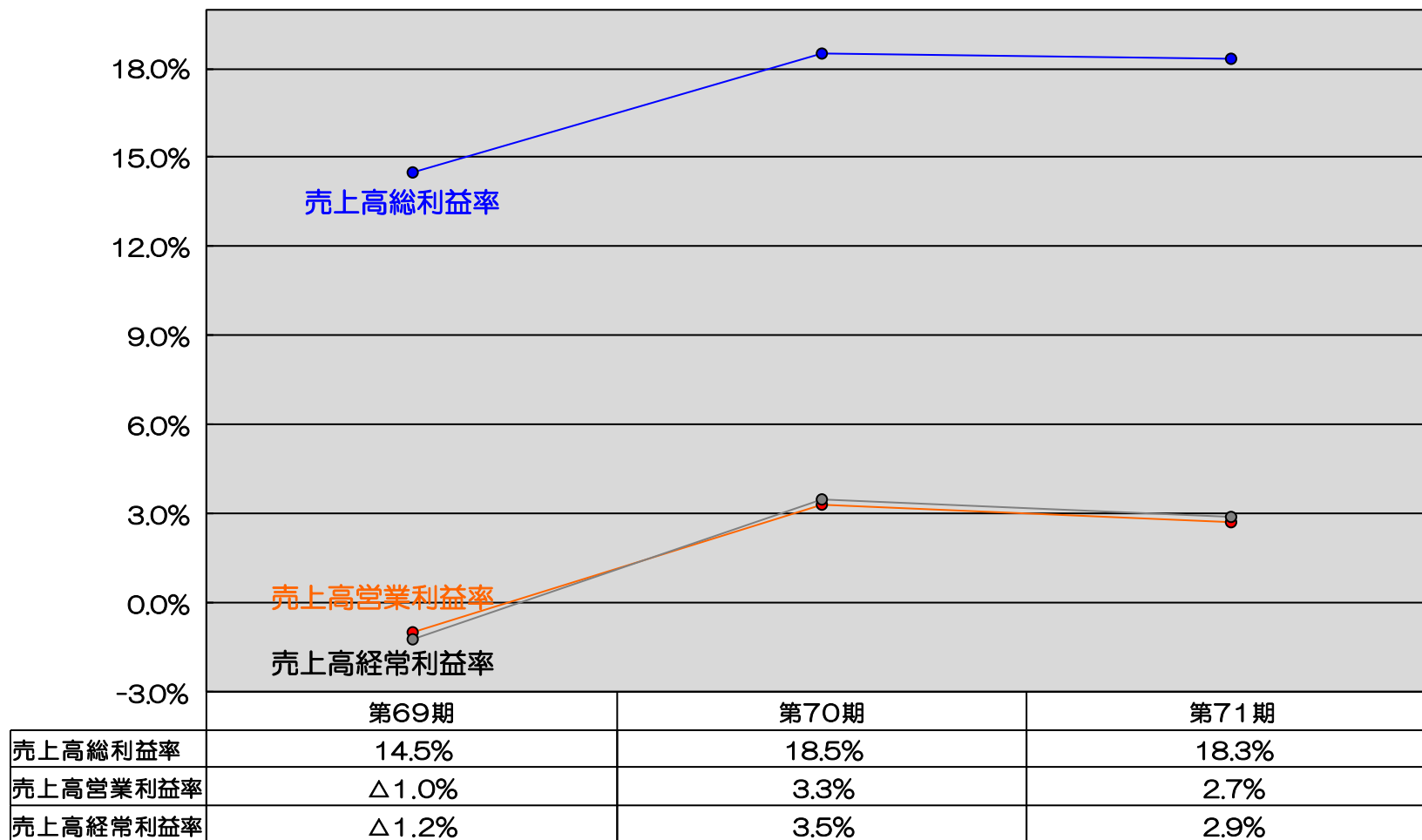


經營指標

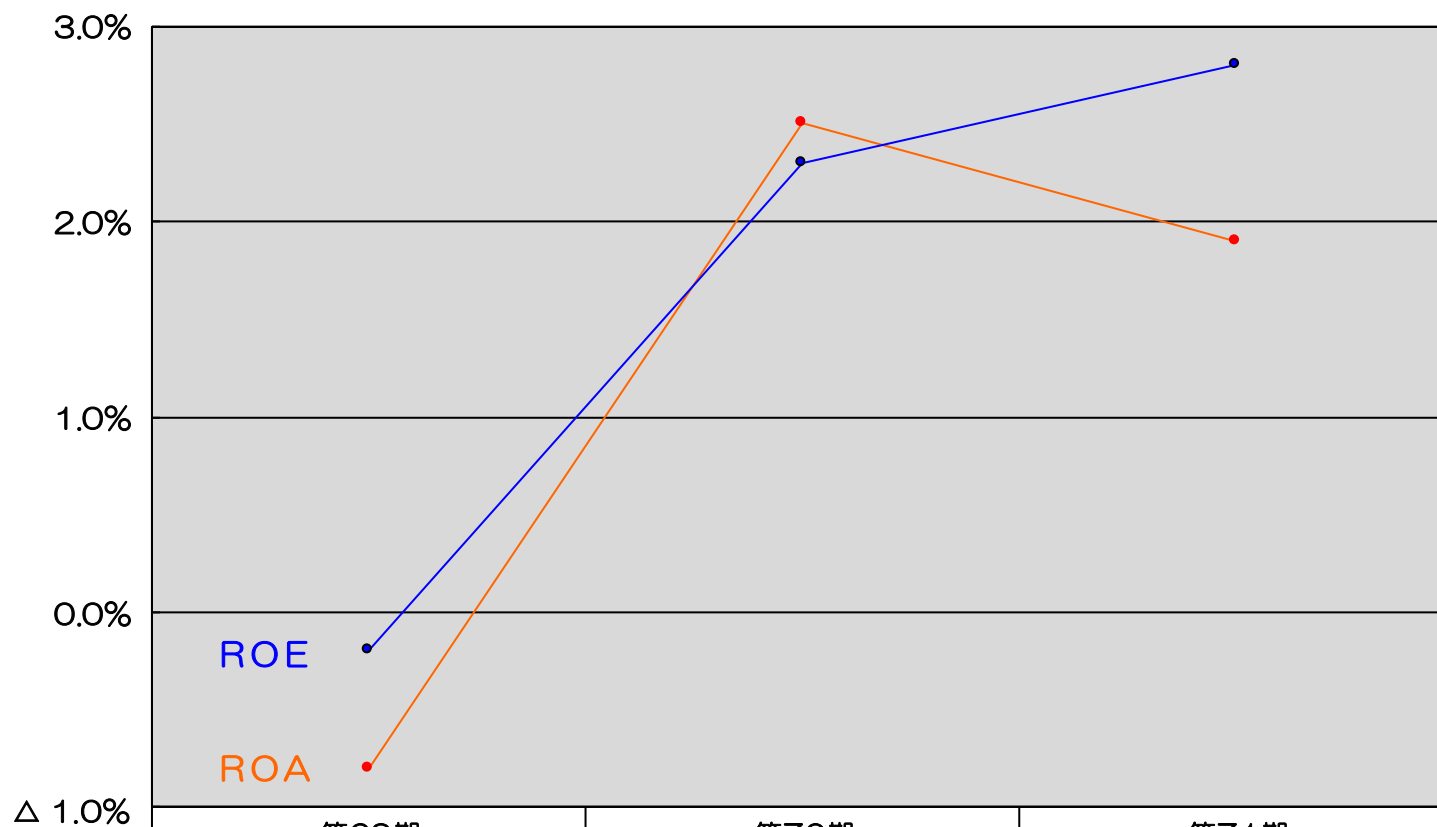
経営指標 I



経営指標Ⅱ



経営指標Ⅲ



| | | | |
|------------------|--------|------|------|
| ROA (総資本当期経常利益率) | △ 0.8% | 2.5% | 1.9% |
| ROE (株主資本当期純利益率) | △ 0.2% | 2.3% | 2.8% |

第72期
(2020年3月期)
連結業績予想

第71期の業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、米中貿易摩擦による中国経済減速の影響などを受け、輸出の伸び悩みが懸念される不透明な状況で推移すると見込まれます。また、設備投資においても人手不足に伴う省人化・省力化投資などが下支えとなるものの海外経済減速の影響を受け、輸出企業の投資が抑制的に推移すると見込まれております。

包装資材事業をめぐる情勢については、人手不足を背景に所得環境は改善傾向が継続すると思われませんが、個人消費は少子高齢化の進行による将来不安を背景とした節約志向や消費増税後の消費意欲の低下などにより力強さに欠けることも予想されます。また、さらなる主要材料・副資材などの値上実施が見込まれることに加え、引き続き、人件費の上昇やエネルギー価格・物流コストなどの上昇も想定されるなど厳しい事業環境が継続すると思われま

す。このような状況のもと、当社グループは、業容の維持・拡大のため、新規分野の開拓、差別化された商品・技術の開発などで競争優位性の確保・拡大に注力するとともに、引き続き、次世代を担う幹部・管理職・従業員育成のための取り組みをさらに強化・充実させてまいります。

包装資材事業については、まず営業面で、引き続き企画提案型の営業活動を継続し、化粧品分野及び医薬品分野のさらなる受注拡大、食品分野及び日用品分野の既存客先からの受注回復と新規客先の開拓、ラベル部門での新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、各種製造・物流コスト上昇を考慮し、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は、既存客先からの増注を図るとともに、東南アジア全域の日系企業、外資系企業並びにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業を対象に新規開拓を強化してまいります。

生産面においては、高効率機械の安定稼働、省人化・省力化の推進、全工程にわたっての生産能力の拡大、効率的な生産体制の構築、品質管理・予防保全策の再徹底、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進するとともに、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、品質保証体制・柔軟性のある生産体制の一層の整備のための諸施策の実行を図り、当社グループの収益基盤の強化に努めてまいります。精密塗工事業については、展示会への出展を継続することでのマーケティング力の強化などで、新規分野・新規客先の需要先の開拓や新たな商品開発での事業範囲の拡大を推進するとともに、生産面では、生産体制の整備を図り、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上による事業の安定化を目指してまいります。その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫性をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、定期的な商品の受注拡大に注力するとともに、生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、省人化・省力化・自動化の推進等で生産力の向上を図るとともに品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

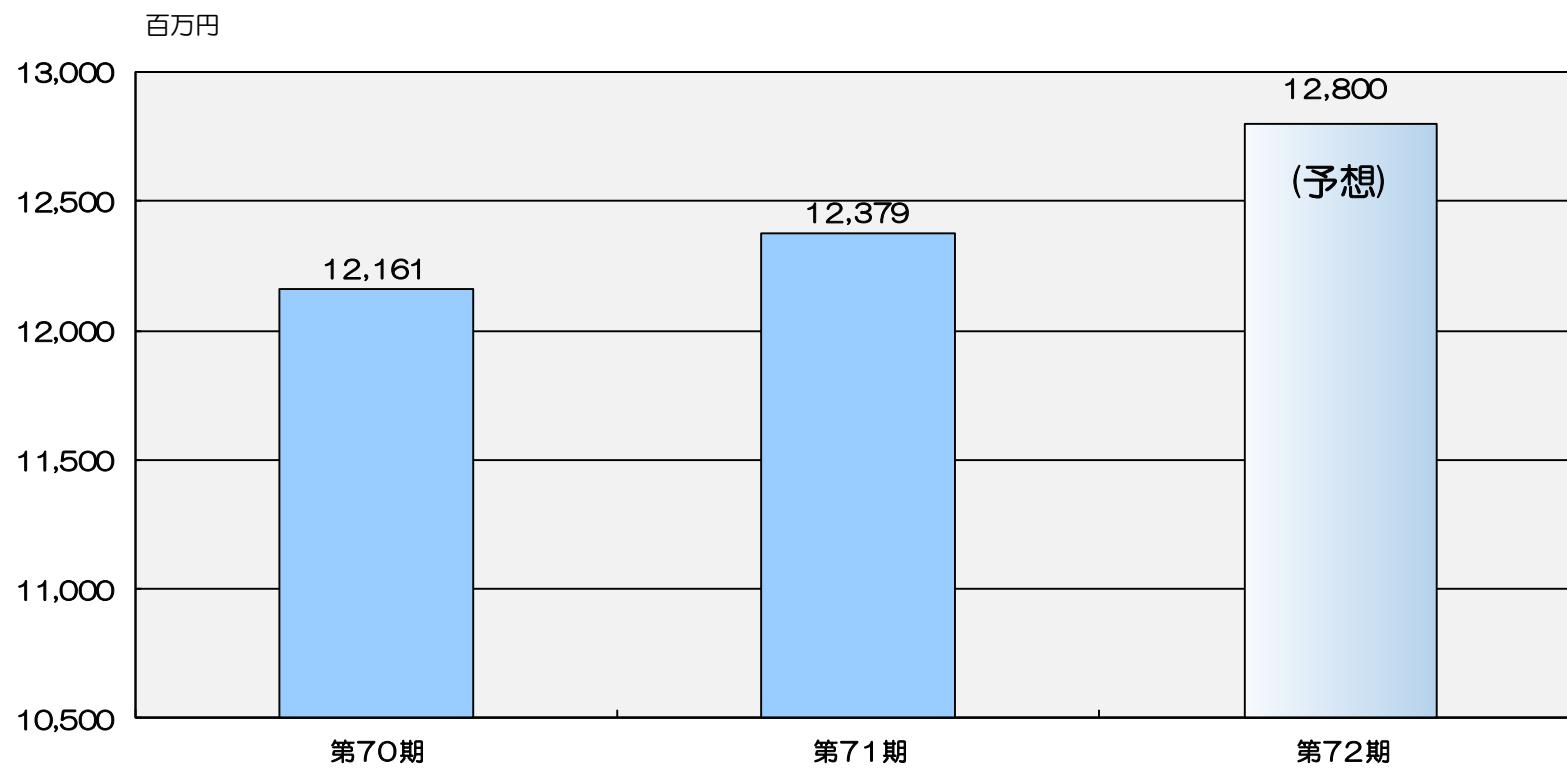
この結果、次期の見通しは、売上高12,800百万円、営業利益230百万円、経常利益250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益140百万円を見込んでおります。

第72期の連結業績予想

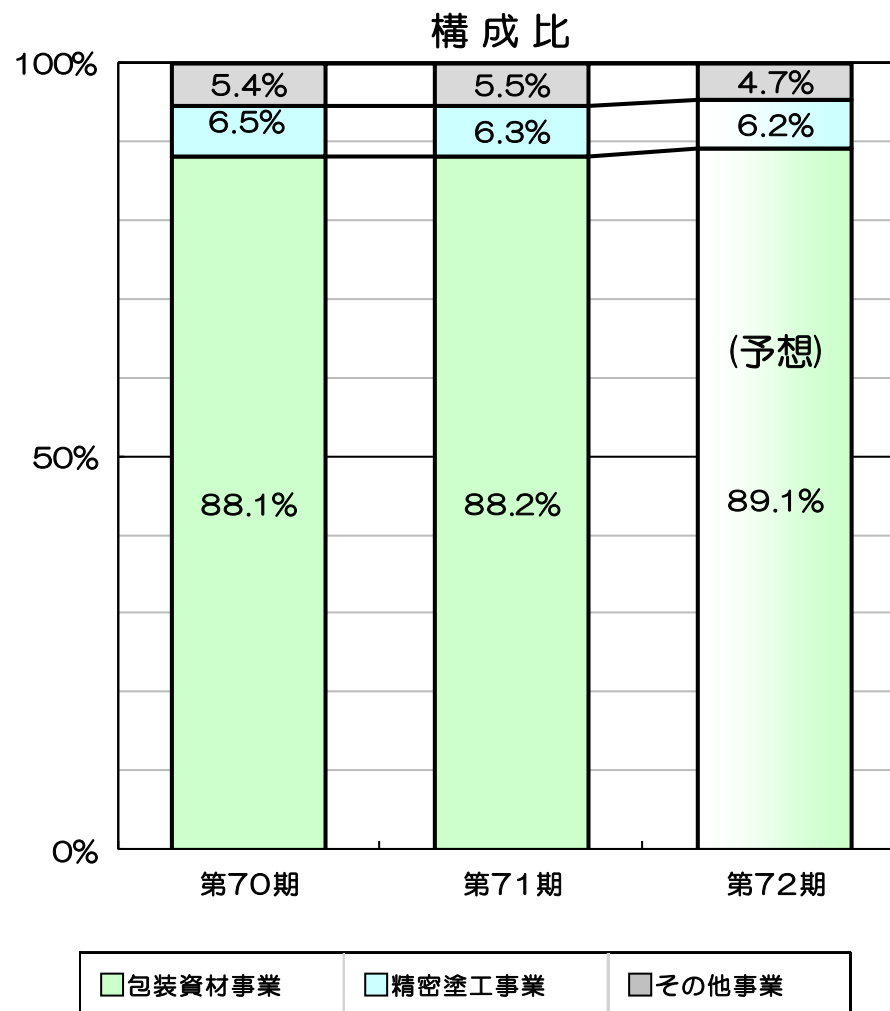
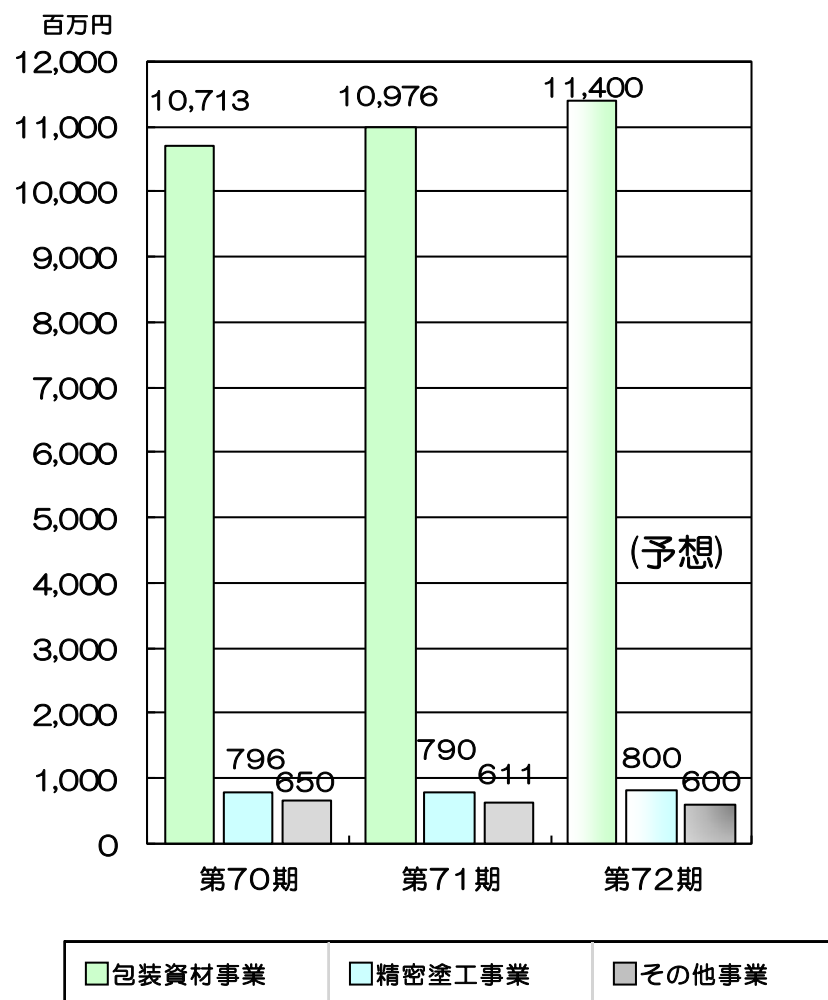
(単位：百万円)

| | 通 期(予想) | |
|-------------------------|---------|------------|
| 売 上 高 | 12,800 | % 100.0 |
| 営 業 利 益 | 230 | 1.8 |
| 経 常 利 益 | 250 | 2.0 |
| 親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 | 140 | 1.1 |

通期売上高



事業別売上高



経営の基本方針

当社は、経営理念に基づき、お客様の立場にたって、包装資材事業を中心とした製品に関する様々なニーズにお応えすることが豊かな社会への貢献につながるものと考えます。

またグローバルな企業競争下の社会環境において、長年の知識と技術力を基礎に技術革新に励み“よきモノづくり”を極め、きめ細かいサービスによりお客様のご要望にお応えすることを目指しております。

<経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追い、それが皆の幸福につながる

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーン株式会社

《事業所》

◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134

◎大阪営業所

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-1-27
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363

◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937

◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017

《子会社》

◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <http://www.toin.co.jp>

○本資料に関するお問合せ

経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131